様へ

説明医師

説明看護師(外来) 看護師(病棟)

月日	月 日	月	B	月 日	月 日
経過	入院日(手術前日)	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	2日目
目標	心身ともに安定した状	態で手術に臨める	呼吸困難がない 麻酔 疼痛がない 出血が	P合併症がない 離床 「ない ストレッチが積	できる 極的にできる
· 検 査	必要な検査は外来で 完了しています (血液検査以外)				胸部レントゲンを 行います <u>●</u>
食事	21時以降は 絶飲食となります	絶飲食です (経口補水液は6時ま ⁻	でです) <a>★	昼食から 食事可能となります	
	朝食は自宅で				
	呼吸の訓練と ストレッチをします	手術着に着替えます	手術後、翌朝まで 酸素マスクが ついています	つけます 胸の管を確認します -	尿の管を抜去します
	(退院日まで装着します) 	手術前に尿の管を 挿入します (手術室にて)	胸に管が入っています 必要時、		必要時、吸入を行いま
察	マーキングを します ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		吸入を行います 手術後は頻回に 測定します	†	₹
点滴・内口	就寝前に下剤を 服用します 持参薬、お薬 手帳を看護師に	点滴用の針を 挿入します (手術室にて)	手術後の点滴が あります ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	点滴があります 点滴終了後に 針を抜去します 内服薬が始まります	
服	お渡しください制限ありません	手術着に着替えて	ください 床上安静と なります	が 歩行できます	
動	シ ・シャワー できます	ください		タオルで 計拭します	
説明	医師より説療 ・手術といて ・手術のいい ・手術の ・麻酔が ・麻酔が ・麻酔についいで ・大きなが ・たが ・大きなが ・大きなが ・大きなが ・たが ・たが ・たが ・たが ・たが ・たが ・たが ・たが ・たが ・た	詳しくは病棟で説明します	医師より説明 ・手術経過に ついて		

- *入院に際して、この用紙を必ずお持ちください
- *入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
- * 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
- *この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

36-C34-1

目標 〇心身ともに安定した状態で手術が受けられ、合併症なく経過する 〇退院後の日常生活に必要な知識が得られ、早期に社会復帰できる

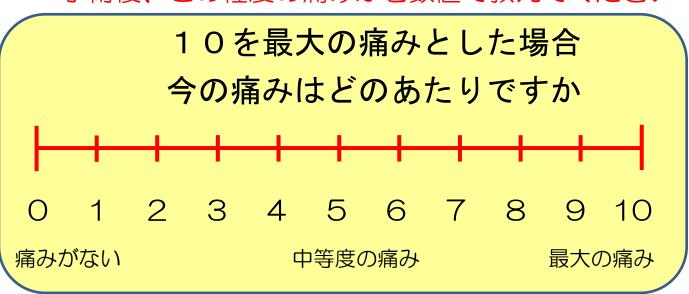
月日	月 日	月 日	月 日~	月 日	月 日
経過	3日目	4日目	5~6日目	7日目	退院日 8日目
目標	呼吸困難がない 麻酔合併症がない 離床できる 疼痛がない 出血がない 胸の管が抜け順調に回復する ストレッチが積極的にできる			退院後の療養生活について理解できる	
検査		胸部レントゲンを 行います ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			胸部レントゲンを 行います
食事					朝食後、 退院となります
処置・観察	胸の管を確認します 創の状態を 確認します ストレッチをします (以後、退院ます (以後、退の入を行います 体温・脈拍・血圧 酸素します				
点滴・内服	内服薬があります				
行動	胸の管が抜けていれ ばシャワーできます ・	* \(\hat{\psi}\)	*	~~~~ >	退院となります
説明					看護師より説明 退院後の療養生活 について 次回外来受診日 月 日 時 分

手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された <u>術後疼痛管理チーム(APS)チーム</u>が、患者さんの傷の痛みに対し て、手術前から計画を立て、<u>傷の痛みが軽減するよう</u>取り組んでま いります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale):痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

● 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください。



APS チームがサポートします。 よろしくお願いします。

